

東名高速から陸自車両転落、2人死傷 静岡・牧之原

2008.6.5 02:32

4日午後2時10分ごろ、静岡県牧之原市坂部の東名高速上りで、陸上自衛隊高遊原分屯地(熊本県)の小型四輪駆動車が高架橋左側のフェンスを乗り越え、約10メートル下の側道に転落した。車に乗っていた隊員2人のうち、助手席の下久保守行3等陸曹(24)が頭などを強く打って死亡、運転していた長与英範1等陸曹(34)が胸などに重傷を負った。

県警高速隊の調べでは、追い越し車線を走行中だった車両は道路左側のガードレールに衝突後、上のフェンスをなぎ倒して転落。関係者によると、右後輪タイヤが破裂していたという。

現場は長い下り坂の後の長さ約830メートルの高架橋でほぼ直線。現場付近で最長約12キロの渋滞が出た。

隊員2人は同分屯地西部方面ヘリコプター隊第3飛行隊所属。車はヘリの電源車で、点検のため3日に同駐屯地を出発、千葉県松戸市内に向かう途中だった。

